

東大物性研究所 液化室だより

ヘリウム液化機更新工事近況報告(2)

ヘリウムガス回収ライン工事完成

今回更新する全ての機器類が液化室に届き、工事も完成しつつあります。とりわけヘリウムガス回収システムの工事は終わり、試運転調整の段階に入っています。現在はごく一部の配管と電気、塗装、液体ヘリウム貯槽の予冷、清掃等の作業を残すのみとなっています。また、冷却水設備は試運転を開始して、調整を行っているところです。

3月27日(水)都庁完成検査予定

今回の工事は高圧ガス取締法の適用を受けるため、都庁による完成検査が行われます。検査は3月27日(水)に予定されていますが、この検査に合格しないと液化機をはじめとする、全ての機器類は作動させることはできません。

検査が終了し合格となれば、ただちにヘリウムガスの回収作業を行いますので、研究室のご協力をお願いします。

なお、検査当日はバルブ類、配管、溶接部等の洩れをチェックしますので、圧力をかけることもあります。その場合、一時的に配管の圧力が上昇するかも知れませんが、予めご承知おき下さい。

同じく液化機等も点検、調整等の作業が必要なため、製造会社(ドイツ)よりスーパーバイザーが来日して行われます。液化機はタービンや内部精製器など非常にデリケートな場所が数多くあるので、調整は慎重な上にも慎重に行う必要があります。運転できるまでまだまだ時間がかかります。本格的に液化できるのは4月上旬~中旬頃となる見込みです。

試運転が終了し、問題がなければ4月中旬ころから液化作業を行います。本格的に液化室から供給できるのはもう少し後になる予定です。したがって供給予定表が作成できるのはまだ先のことになりますので、もうしばらくお待ち下さい。